

岡山県の景気観測調査

(令和元年10～12月期実績)

令和2年1月31日

岡山県商工会議所連合会

- 1. 調査方法** FAXによるアンケート
- 2. 調査内容** 景況のほか、生産額・売上額など10項目
①令和元年10～12月期を前年同期と比較
②令和2年1～3月期の先行き見通しを令和元年10～12月期と比較
- 3. 調査時期** 12月下旬
- 4. 調査対象** 県下商工会議所会員企業578社
- 5. 有効回答数** 548社 (回収率94.8%)
- | | | | | |
|-------|------|------------|------------|------------|
| 製造業 | 183社 | 食料品29社 | 繊維関連32社 | 紙・印刷・出版22社 |
| | | 機械金属33社 | 電気・精密機械10社 | 鉱業・窯業・土石9社 |
| | | 輸送用機械器具11社 | その他37社 | |
| 建設業 | 88社 | | | |
| 卸売業 | 73社 | | | |
| 小売業 | 93社 | | | |
| サービス業 | 111社 | | | |
- 6. 調査開始時期** 平成10年12月

7. DI(ディフュージョン・インデックス)方式

DIは各調査項目について判断の状況を示す。
ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)の回答割合が多いことを示す。
 $DI = (\text{増加・好転など「良い」の回答割合}) - (\text{減少・悪化など「悪い」の回答割合})$

8. 問い合わせ先

岡山県商工会議所連合会 TEL(086)232-2262

岡山商工会議所	事業推進部	TEL(086)232-2262
倉敷商工会議所	産業振興課	TEL(086)424-2111
玉島商工会議所	総務課	TEL(086)526-0131
児島商工会議所	総務課	TEL(086)472-4450
津山商工会議所	経営支援課	TEL(0868)22-3141
玉野商工会議所	中小企業相談所	TEL(0863)33-5010
笠岡商工会議所	指導課	TEL(0865)63-1151
井原商工会議所	業務課	TEL(0866)62-0420
備前商工会議所	経営支援部	TEL(0869)64-2885
高梁商工会議所	総務企画課	TEL(0866)22-2091
総社商工会議所	業務課	TEL(0866)92-1122
新見商工会議所	指導課	TEL(0867)72-2139

令和元年10～12月期「景況概要」

「景況は2期連続で悪化、懸念材料多く、慎重な見方続く」

景況全体では、DI値が▲12.0と前期(▲7.9)に比べ、4.1ポイントマイナス幅が拡大し、2期連続で悪化した。業種別に見ると、サービス業でDI値が改善したが、製造業、建設業、小売業ではDI値が悪化した。項目別で見ると、生産額・売上額、受注額、採算(収益)等ほとんどの項目でDI値が悪化した。また、従業員数(常用)は6期ぶりにDI値が下がったものの、依然として人手不足感は強い状況にある。消費増税による消費の抑制や米中貿易摩擦の影響に加え、中東情勢の緊張など懸念材料が多く、先行きは慎重な見方が続く。

1. 景況

総合DI(好転-悪化)は▲12.0と7～9月期に比べ4.1ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、サービス業でマイナス幅が縮小、卸売業ではマイナスで横ばいとなった。しかし、建設業ではプラス幅が縮小、製造業、小売業ではマイナス幅が拡大した。

2. 生産額・売上額

総合DI(増加-減少)は▲15.5と7～9月期に比べ7.6ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、サービス業でマイナスからプラスへ転換した。しかし、製造業、卸売業、小売業ではマイナス幅が拡大した。

3. 受注額

総合DI(増加-減少)は▲10.1と7～9月期に比べ13.4ポイント悪化しプラスからマイナスへ転換した。業種別では、建設業でプラスからマイナスへ転換、製造業でマイナス幅が拡大した。

4. 原材料・商品仕入価格

総合DI(下降-上昇)は▲28.5と7～9月期に比べ0.2ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、製造業、卸売業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業、小売業、サービス業でマイナス幅が拡大した。

5. 製品・商品販売価格

総合DI(上昇-下降)は6.4と7～9月期に比べ0.8ポイントプラス幅が縮小した。業種別では、サービス業でプラス幅が拡大した。しかし、卸売業、小売業ではプラス幅が縮小、製造業ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換した。

6. 製品在庫・商品在庫

総合DI(減少-増加)は6.7と7～9月期に比べ3.4ポイントプラス幅が拡大した。業種別では、製造業、小売業、サービス業でプラス幅が拡大、卸売業ではプラスで横ばいとなった。

7. 資金繰り

総合DI(好転-悪化)は▲10.4と7～9月期に比べ3.5ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、製造業、卸売業、小売業ではマイナス幅が拡大した。

8. 採算(収益)

総合DI(好転-悪化)は▲18.4と7～9月期に比べ6.1ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、製造業、建設業、小売業ではマイナス幅が拡大した。

9. 従業員(常用)

総合DI(不足-過剰)は27.9と7～9月期に比べ2.0ポイントプラス幅が縮小した。業種別では、サービス業でプラス幅が拡大した。しかし、製造業、建設業、卸売業、小売業ではプラス幅が縮小した。

10. 従業員(臨時)

総合DI(不足-過剰)は21.5と7～9月期に比べ0.2ポイントプラス幅が縮小した。業種別では、建設業、小売業、サービス業でプラス幅が拡大した。しかし、製造業、卸売業ではプラス幅が縮小した。

1. 景況

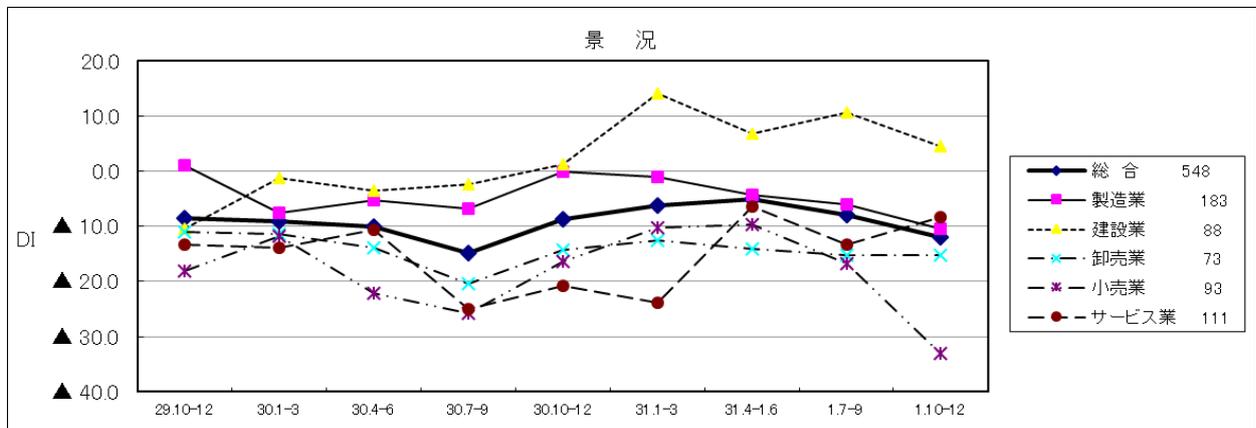
(1) 全体

総合DI（好転→悪化）は▲12.0と7～9月期に比べ4.1ポイントマイナス幅が拡大した。

業種別では、サービス業でマイナス幅が縮小、卸売業ではマイナスで横ばいとなった。しかし、建設業ではプラス幅が縮小、製造業、小売業ではマイナス幅が拡大した。

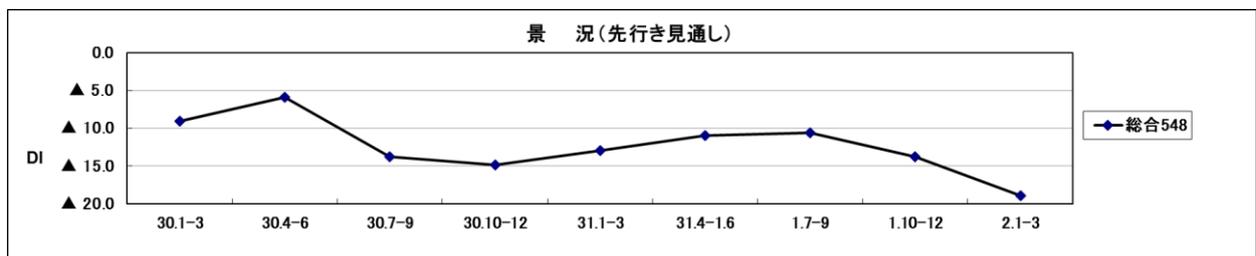
令和2年1～3月期の先行き見通し総合DIは▲18.9（前回調査時の先行き見通し総合DI ▲13.8）となり、マイナス幅が拡大する見通し。

景況		29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
総合	548	▲8.5	▲9.1	▲10.1	▲14.8	▲8.7	▲6.3	▲5.1	▲7.9	▲12.0
製造業	183	1.1	▲7.5	▲5.3	▲6.8	0.0	▲1.1	▲4.3	▲5.9	▲10.5
建設業	88	▲10.3	▲1.2	▲3.5	▲2.4	1.2	14.1	6.9	10.6	4.6
卸売業	73	▲11.0	▲11.4	▲13.9	▲20.3	▲14.3	▲12.5	▲14.1	▲15.3	▲15.3
小売業	93	▲18.1	▲11.7	▲22.1	▲25.8	▲16.3	▲10.2	▲9.6	▲16.7	▲33.0
サービス業	111	▲13.3	▲13.9	▲10.7	▲25.0	▲20.7	▲23.9	▲6.4	▲13.3	▲8.3



<参考> 先行き見通し

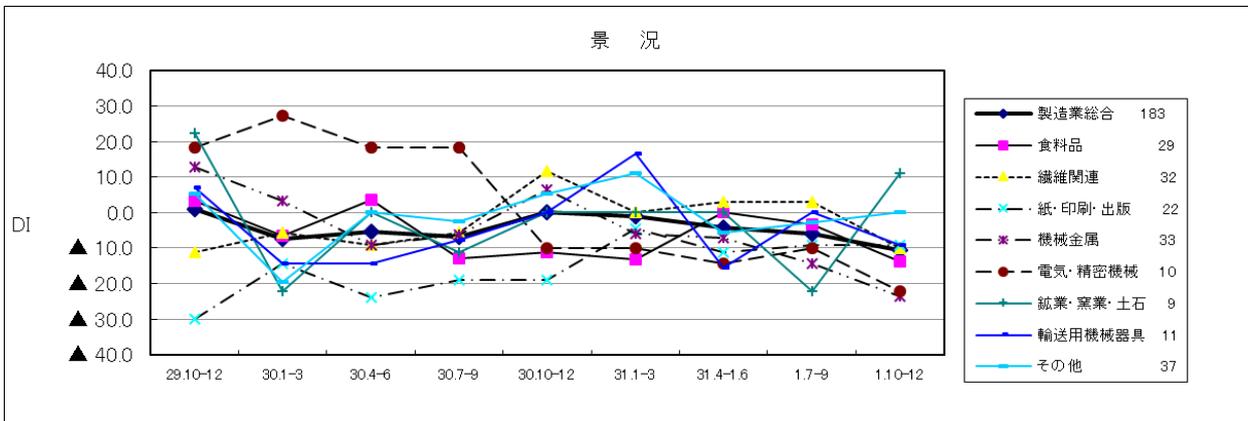
先行き見通し		30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
総合	548	▲9.1	▲5.9	▲13.8	▲14.8	▲12.9	▲11.0	▲10.6	▲13.8	▲18.9



(2) 製造業の内訳

鉱業・窯業・土石ではマイナスからプラスへ転換、その他ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、紙・印刷・出版ではマイナスで横ばいとなった。しかし、繊維関連ではプラスからマイナスへ転換、輸送用機械器具ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、食料品、機械金属、電気・精密機械ではマイナス幅が拡大した。

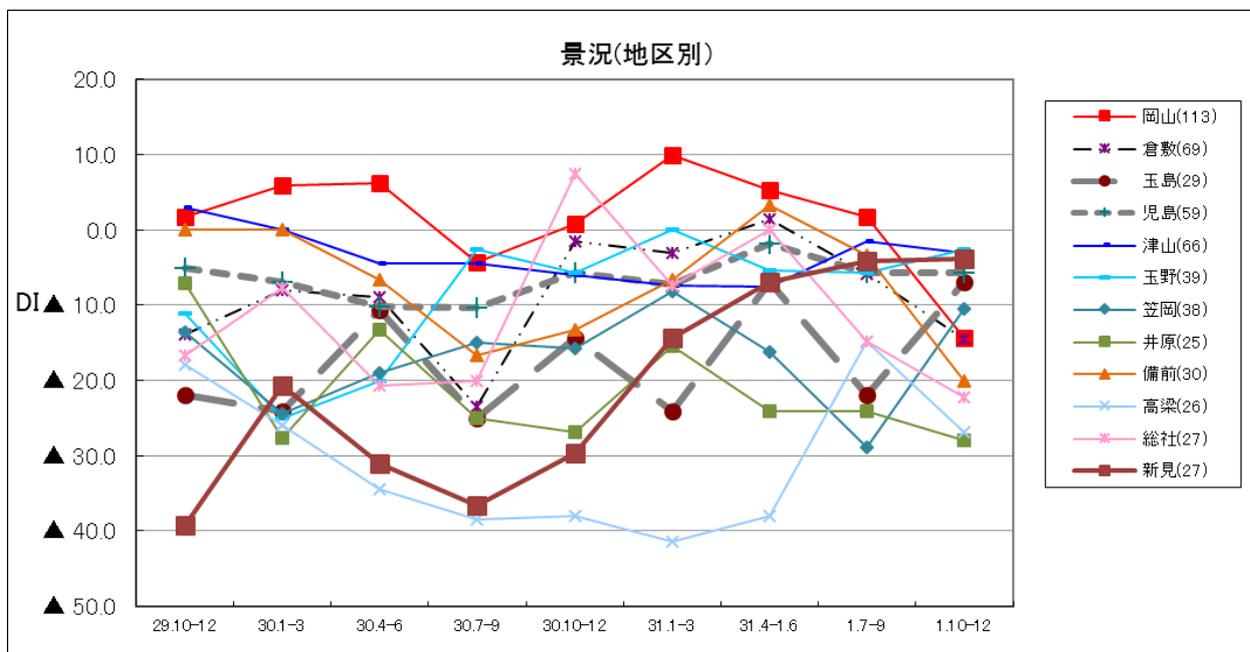
景況		29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
製造業総合	183	1.1	▲ 7.5	▲ 5.3	▲ 6.8	0.0	▲ 1.1	▲ 4.3	▲ 5.9	▲ 10.5
食料品	29	3.2	▲ 6.7	3.4	▲ 12.9	▲ 11.1	▲ 13.3	0.0	▲ 3.4	▲ 13.8
繊維関連	32	▲ 11.1	▲ 5.7	▲ 9.1	▲ 5.6	11.8	0.0	2.9	3.0	▲ 10.0
紙・印刷・出版	22	▲ 30.0	▲ 14.3	▲ 23.8	▲ 19.0	▲ 19.0	▲ 4.5	▲ 11.1	▲ 9.1	▲ 9.1
機械金属	33	12.9	3.3	▲ 9.1	▲ 6.3	6.5	▲ 5.9	▲ 7.1	▲ 14.3	▲ 23.5
電気・精密機械	10	18.2	27.3	18.2	18.2	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 14.3	▲ 10.0	▲ 22.2
鉱業・窯業・土石	9	22.2	▲ 22.2	0.0	▲ 11.1	0.0	0.0	0.0	▲ 22.2	11.1
輸送用機械器具	11	7.1	▲ 14.3	▲ 14.3	▲ 7.7	0.0	16.7	▲ 15.4	0.0	▲ 9.1
その他	37	5.4	▲ 19.4	0.0	▲ 2.6	5.4	11.1	▲ 5.6	▲ 2.9	0.0



<参考>地区別

玉島、玉野、笠岡、新見ではマイナス幅が縮小、児島ではマイナスで横ばいとなった。しかし、岡山ではプラスからマイナスへ転換、倉敷、津山、井原、備前、高梁、総社ではマイナス幅が拡大した。

景況(地区別)	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
岡山(113)	1.7	5.9	6.2	▲ 4.3	0.9	9.9	5.4	1.7	▲ 14.3
倉敷(69)	▲ 13.8	▲ 7.9	▲ 9.0	▲ 23.4	▲ 1.6	▲ 3.1	1.4	▲ 5.8	▲ 14.5
玉島(29)	▲ 21.9	▲ 24.1	▲ 10.7	▲ 25.0	▲ 14.3	▲ 24.1	▲ 6.9	▲ 21.9	▲ 6.9
児島(59)	▲ 5.1	▲ 6.9	▲ 10.2	▲ 10.3	▲ 5.7	▲ 7.3	▲ 1.8	▲ 5.7	▲ 5.7
津山(66)	3.0	0.0	▲ 4.5	▲ 4.5	▲ 6.0	▲ 7.5	▲ 7.6	▲ 1.5	▲ 3.0
玉野(39)	▲ 11.1	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 2.6	▲ 5.7	0.0	▲ 5.4	▲ 5.7	▲ 2.6
笠岡(38)	▲ 13.5	▲ 24.3	▲ 18.9	▲ 15.0	▲ 15.8	▲ 8.1	▲ 16.2	▲ 28.9	▲ 10.5
井原(25)	▲ 7.1	▲ 27.6	▲ 13.3	▲ 25.0	▲ 26.9	▲ 15.4	▲ 24.1	▲ 24.1	▲ 28.0
備前(30)	0.0	0.0	▲ 6.7	▲ 16.7	▲ 13.3	▲ 6.7	3.3	▲ 3.3	▲ 20.0
高梁(26)	▲ 17.9	▲ 25.9	▲ 34.5	▲ 38.5	▲ 37.9	▲ 41.4	▲ 37.9	▲ 14.8	▲ 26.9
総社(27)	▲ 16.7	▲ 7.7	▲ 20.7	▲ 20.0	7.4	▲ 7.4	0.0	▲ 14.8	▲ 22.2
新見(27)	▲ 39.3	▲ 20.7	▲ 31.0	▲ 36.7	▲ 29.6	▲ 14.3	▲ 6.9	▲ 4.2	▲ 3.8



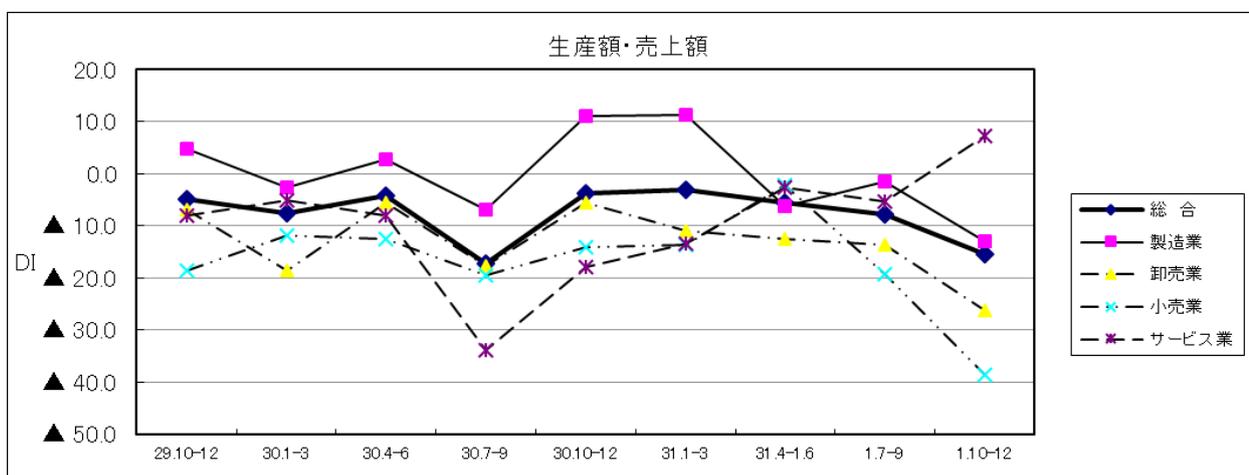
2. 生産額・売上額

(1) 全体

総合DI（増加－減少）は▲15.5と7～9月期に比べ7.6ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、サービス業でマイナスからプラスへ転換した。しかし、製造業、卸売業、小売業ではマイナス幅が拡大した。

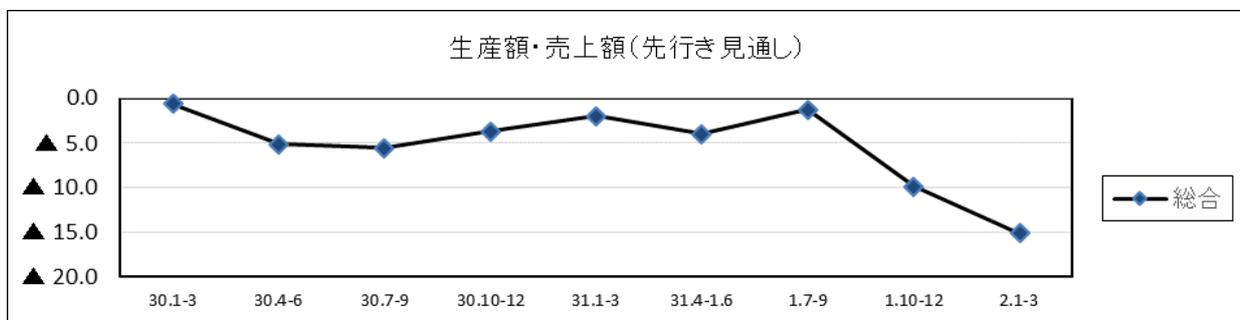
令和2年1～3月期の先行き見通し総合DIは▲15.2（前回▲9.9）となり、マイナス幅が拡大する見通し。

生産額・売上額	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
総合	▲4.9	▲7.5	▲4.3	▲17.2	▲3.7	▲3.1	▲5.6	▲7.9	▲15.5
製造業	4.8	▲2.7	2.6	▲6.8	10.9	11.2	▲6.3	▲1.6	▲13.1
卸売業	▲6.8	▲18.6	▲5.6	▲17.6	▲5.6	▲11.0	▲12.5	▲13.7	▲26.4
小売業	▲18.6	▲11.8	▲12.5	▲19.6	▲14.1	▲13.6	▲2.1	▲19.4	▲38.7
サービス業	▲8.0	▲5.2	▲8.0	▲34.0	▲17.9	▲13.5	▲2.7	▲5.3	7.2



<参考> 先行き見通し

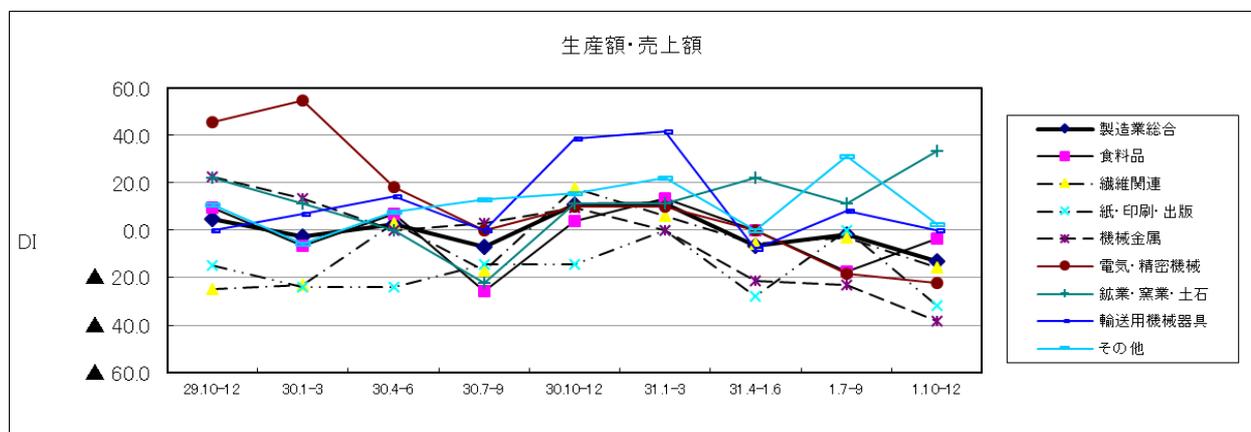
先行き見通し	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
総合	▲0.6	▲5.2	▲5.6	▲3.7	▲2.0	▲4.0	▲1.3	▲9.9	▲15.2



(2) 製造業の内訳

鉱業・窯業・土石ではプラス幅が拡大、食料品ではマイナス幅が縮小した。しかし、その他ではプラス幅が縮小、輸送用機械器具ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換、紙・印刷・出版ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、繊維関連、機械金属、電気・精密機械ではマイナス幅が拡大した。

生産額・売上額	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
製造業総合	4.8	▲ 2.7	2.6	▲ 6.8	10.9	11.2	▲ 6.3	▲ 1.6	▲ 13.1
食料品	9.7	▲ 6.7	6.9	▲ 25.8	3.7	13.3	0.0	▲ 17.2	▲ 3.4
繊維関連	▲ 25.0	▲ 22.9	2.9	▲ 17.1	17.6	5.9	▲ 5.6	▲ 2.9	▲ 15.6
紙・印刷・出版	▲ 15.0	▲ 23.8	▲ 23.8	▲ 14.3	▲ 14.3	0.0	▲ 27.8	0.0	▲ 31.8
機械金属	22.6	13.3	0.0	3.1	9.7	0.0	▲ 21.4	▲ 22.9	▲ 38.2
電気・精密機械	45.5	54.5	18.2	0.0	10.0	10.0	0.0	▲ 18.2	▲ 22.2
鉱業・窯業・土石	22.2	11.1	0.0	▲ 22.2	11.1	11.1	22.2	11.1	33.3
輸送用機械器具	0.0	7.1	14.3	0.0	38.5	41.7	▲ 7.7	8.3	0.0
その他	10.8	▲ 5.6	7.9	13.2	15.8	22.2	0.0	31.4	2.7



3. 受注額

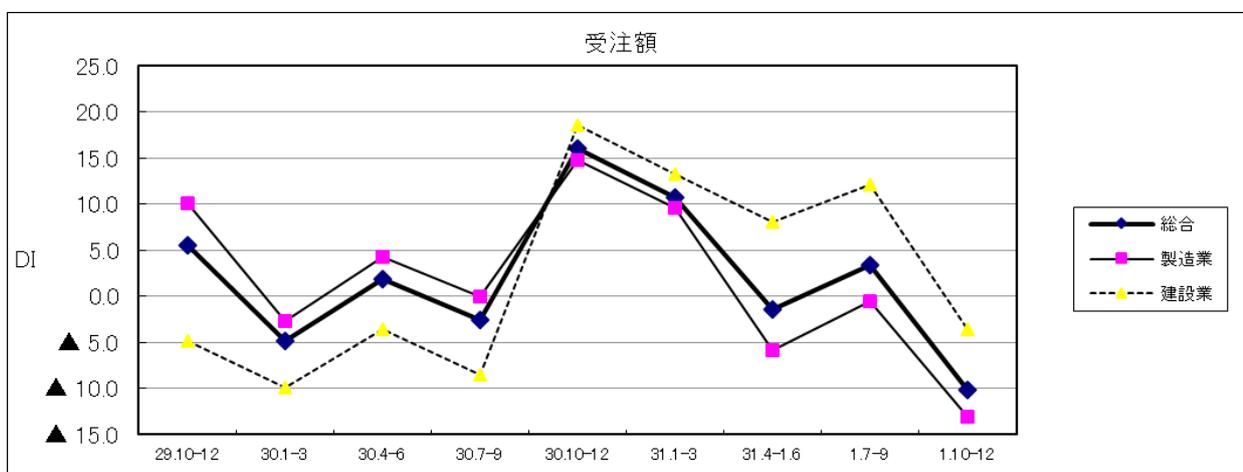
(1) 全体

総合DI（増加－減少）は▲10.1と7～9月期に比べ13.4ポイント悪化しプラスからマイナスへ転換した。

業種別では、建設業でプラスからマイナスへ転換、製造業でマイナス幅が拡大した。

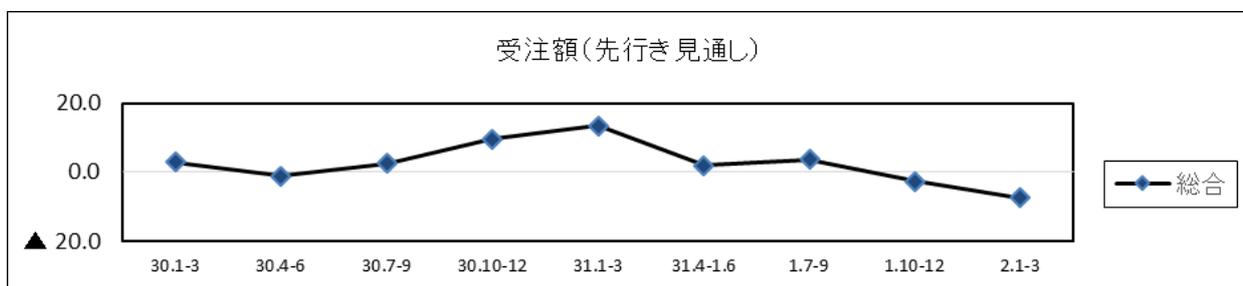
令和2年1～3月期の先行き見通し総合DIは▲7.4（前回▲2.6）となり、マイナス幅が拡大する見通し。

受注額	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
総合	5.5	▲4.9	1.8	▲2.6	16.0	10.7	▲1.4	3.3	▲10.1
製造業	10.1	▲2.7	4.2	0.0	14.8	9.6	▲5.8	▲0.5	▲13.1
建設業	▲4.8	▲9.9	▲3.6	▲8.5	18.6	13.3	8.0	12.0	▲3.6



<参考> 先行き見通し

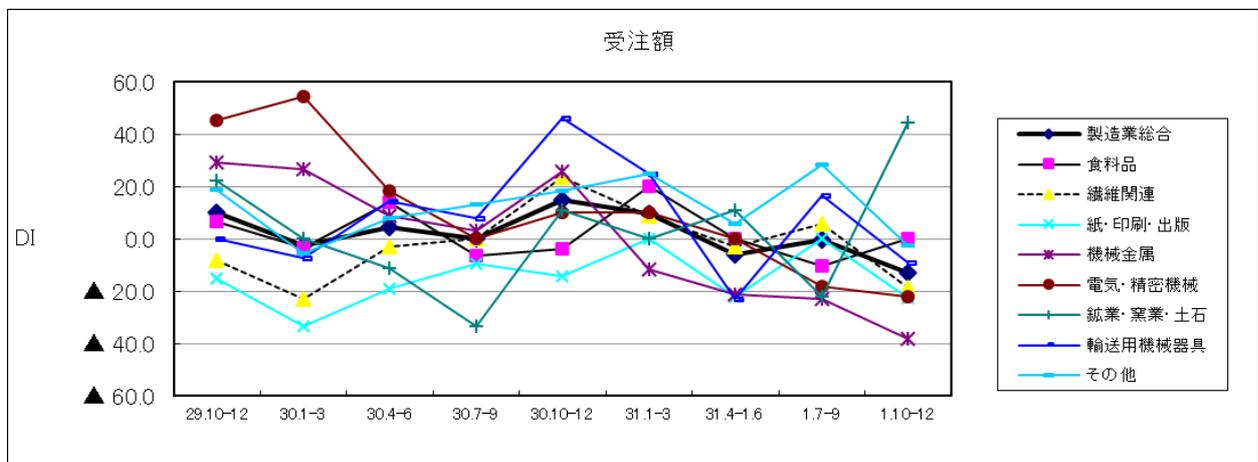
先行き見通し	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
総合	3.0	▲1.1	2.6	9.7	13.4	1.9	3.7	▲2.6	▲7.4



(2) 製造業の内訳

鉱業・窯業・土石ではマイナスからプラスへ転換、食料品ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換した。しかし、繊維関連、輸送用機械器具、その他ではプラスからマイナスへ転換、紙・印刷・出版ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、機械金属、電気・精密機械ではマイナス幅が拡大した。

受注額	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
製造業総合	10.1	▲ 2.7	4.2	0.0	14.8	9.6	▲ 5.8	▲ 0.5	▲ 13.1
食料品	6.5	▲ 3.3	13.8	▲ 6.5	▲ 3.7	20.0	0.0	▲ 10.3	0.0
繊維関連	▲ 8.3	▲ 22.9	▲ 2.9	0.0	23.5	8.8	▲ 2.8	5.7	▲ 18.8
紙・印刷・出版	▲ 15.0	▲ 33.3	▲ 19.0	▲ 9.5	▲ 14.3	0.0	▲ 22.2	0.0	▲ 22.7
機械金属	29.0	26.7	8.8	3.1	25.8	▲ 11.8	▲ 21.4	▲ 22.9	▲ 38.2
電気・精密機械	45.5	54.5	18.2	0.0	10.0	10.0	0.0	▲ 18.2	▲ 22.2
鉱業・窯業・土石	22.2	0.0	▲ 11.1	▲ 33.3	11.1	0.0	11.1	▲ 22.2	44.4
輸送用機械器具	0.0	▲ 7.1	14.3	7.7	46.2	25.0	▲ 23.1	16.7	▲ 9.1
その他	18.9	▲ 5.6	7.9	13.2	18.4	25.0	5.6	28.6	▲ 2.7



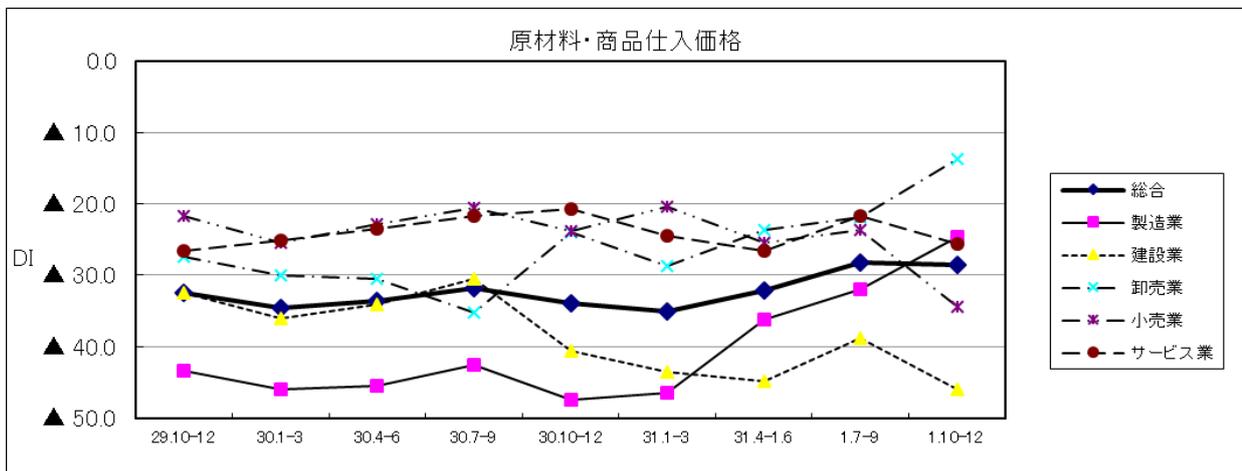
4. 原材料・商品仕入価格

(1) 全体

総合DI（下降－上昇）は▲28.5と7～9月期に比べ0.2ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、製造業、卸売業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業、小売業、サービス業でマイナス幅が拡大した。

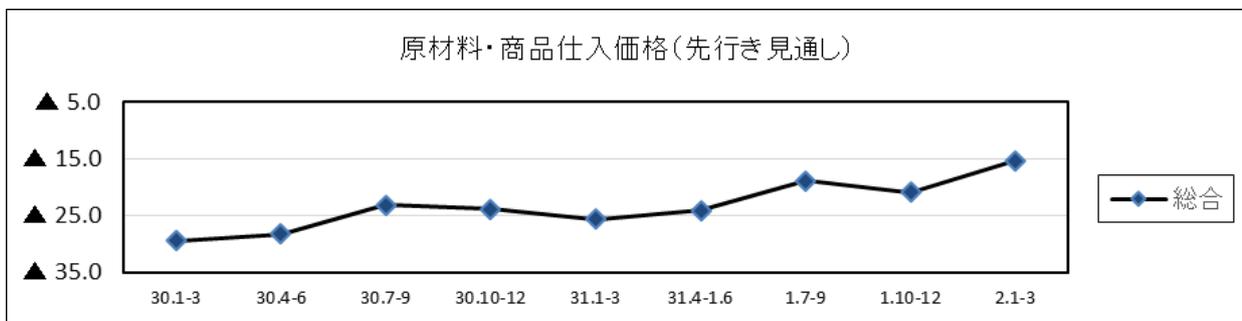
令和2年1～3月期の先行き見通し総合DIは▲15.4（前回▲21.0）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

原材料・商品仕入価格	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
総合	▲32.5	▲34.6	▲33.6	▲31.9	▲34.0	▲35.0	▲32.2	▲28.3	▲28.5
製造業	▲43.4	▲45.9	▲45.5	▲42.6	▲47.5	▲46.5	▲36.2	▲31.9	▲24.7
建設業	▲32.6	▲36.1	▲34.1	▲30.6	▲40.7	▲43.5	▲44.8	▲38.8	▲46.0
卸売業	▲27.4	▲30.0	▲30.6	▲35.3	▲23.9	▲28.8	▲23.6	▲21.9	▲13.7
小売業	▲21.6	▲25.5	▲22.9	▲20.6	▲23.9	▲20.5	▲25.5	▲23.7	▲34.4
サービス業	▲26.6	▲25.2	▲23.6	▲21.7	▲20.8	▲24.5	▲26.7	▲21.7	▲25.7



<参考> 先行き見通し

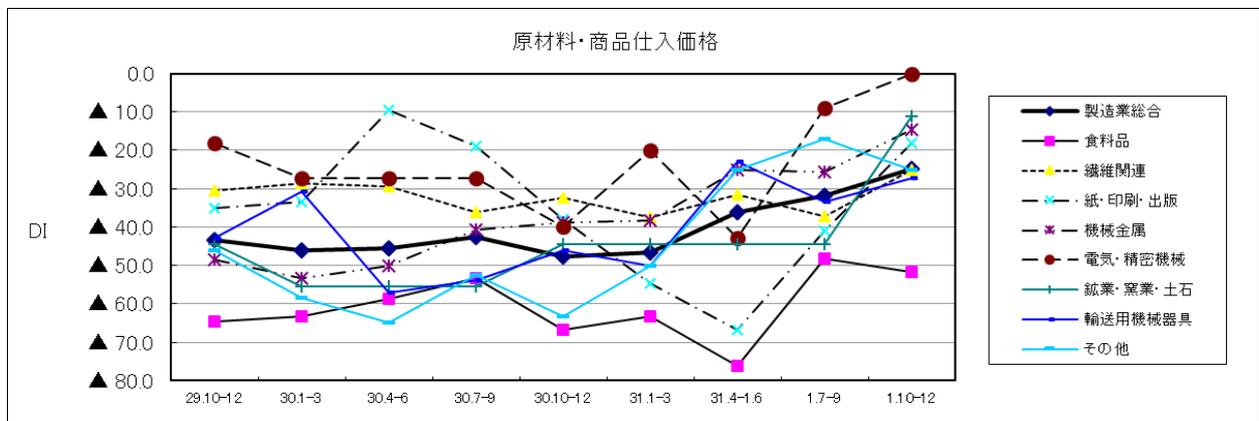
先行き見通し	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
総合	▲29.4	▲28.2	▲23.1	▲23.9	▲25.7	▲24.2	▲19.0	▲21.0	▲15.4



(2) 製造業の内訳

電気・精密機械ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、繊維関連、紙・印刷・出版、機械金属、鉱業・窯業・土石、輸送用機械器具ではマイナス幅が縮小した。しかし、食料品、その他ではマイナス幅が拡大した。

原材料・商品仕入価格	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
製造業総合	▲ 43.4	▲ 45.9	▲ 45.5	▲ 42.6	▲ 47.5	▲ 46.5	▲ 36.2	▲ 31.9	▲ 24.7
食料品	▲ 64.5	▲ 63.3	▲ 58.6	▲ 53.3	▲ 66.7	▲ 63.3	▲ 76.0	▲ 48.3	▲ 51.7
繊維関連	▲ 30.6	▲ 28.6	▲ 29.4	▲ 36.1	▲ 32.4	▲ 37.5	▲ 31.4	▲ 37.1	▲ 25.0
紙・印刷・出版	▲ 35.0	▲ 33.3	▲ 9.5	▲ 19.0	▲ 38.1	▲ 54.5	▲ 66.7	▲ 40.9	▲ 18.2
機械金属	▲ 48.4	▲ 53.3	▲ 50.0	▲ 40.6	▲ 38.7	▲ 38.2	▲ 25.0	▲ 25.7	▲ 14.7
電気・精密機械	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 42.9	▲ 9.1	0.0
鉱業・窯業・土石	▲ 44.4	▲ 55.6	▲ 55.6	▲ 55.6	▲ 44.4	▲ 44.4	▲ 44.4	▲ 44.4	▲ 11.1
輸送用機械器具	▲ 42.9	▲ 30.8	▲ 57.1	▲ 53.8	▲ 46.2	▲ 50.0	▲ 23.1	▲ 33.3	▲ 27.3
その他	▲ 45.9	▲ 58.3	▲ 64.9	▲ 52.6	▲ 63.2	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 17.1	▲ 25.0



5. 製品・商品販売価格

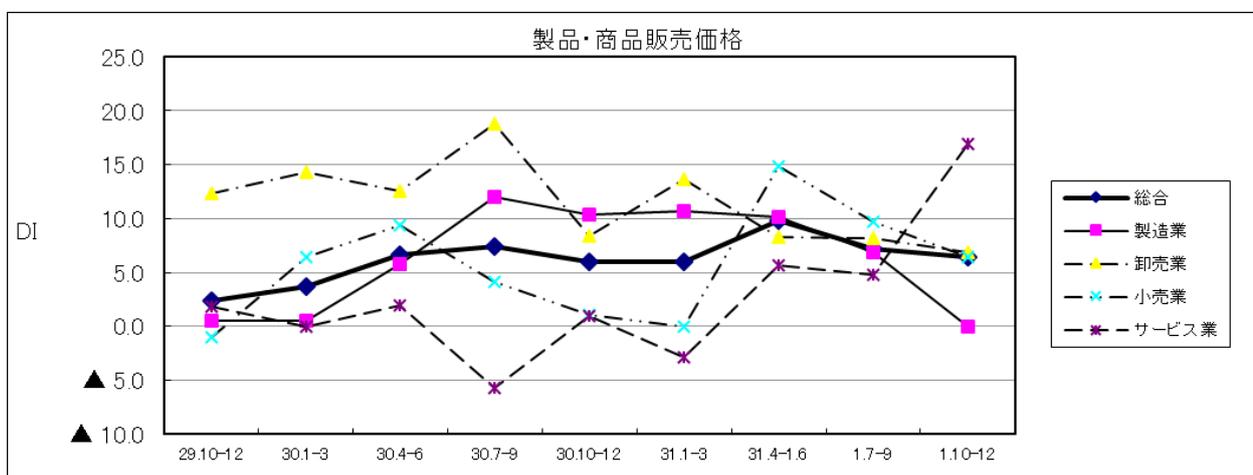
(1) 全体

総合DI（上昇-下降）は6.4と7～9月期に比べ0.8ポイントプラス幅が縮小した。

業種別では、サービス業でプラス幅が拡大した。しかし、卸売業、小売業ではプラス幅が縮小、製造業ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換した。

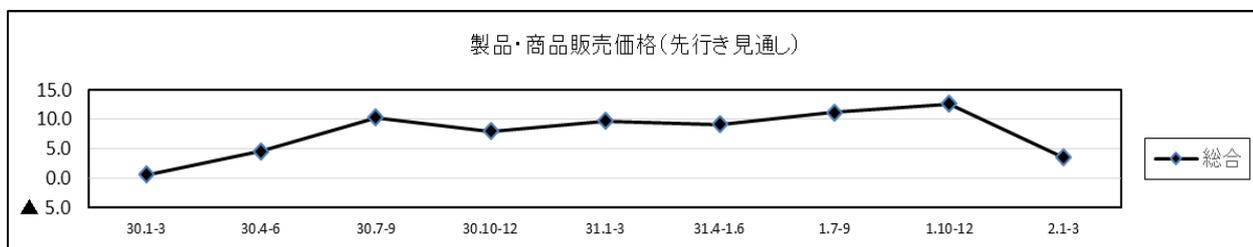
令和2年1～3月期の先行き見通し総合DIは3.6（前回12.7）となり、プラス幅が縮小する見通し。

製品・商品販売価格	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
総合	2.4	3.7	6.7	7.4	6.0	5.9	9.8	7.2	6.4
製造業	0.5	0.5	5.8	12.0	10.4	10.7	10.1	6.9	0.0
卸売業	12.3	14.3	12.5	18.8	8.5	13.7	8.3	8.2	6.8
小売業	▲1.0	6.4	9.4	4.1	1.1	0.0	14.9	9.7	6.5
サービス業	1.9	0.0	1.9	▲5.7	0.9	▲2.8	5.7	4.8	17.0



<参考> 先行き見通し

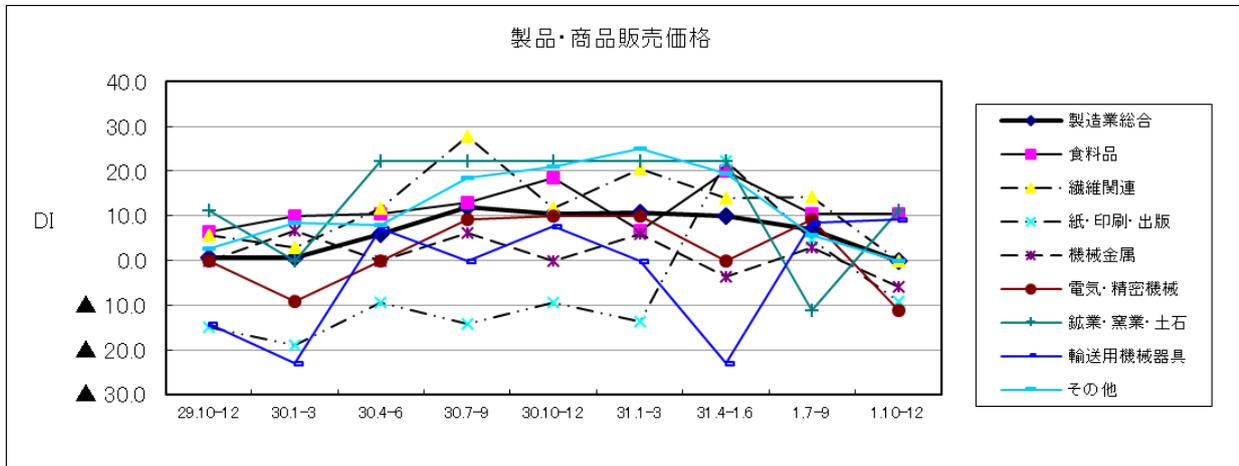
先行き見通し	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
総合	0.6	4.6	10.3	7.9	9.7	9.2	11.2	12.7	3.6



(2) 製造業の内訳

輸送用機械器具ではプラス幅が拡大、鉱業・窯業・土石ではマイナスからプラスへ転換、食料品ではプラスで横ばいとなった。しかし、繊維関連、その他ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換、紙・印刷・出版、機械金属、電気・精密機械ではプラスからマイナスへ転換した。

製品・商品販売価格	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
製造業総合	0.5	0.5	5.8	12.0	10.4	10.7	10.1	6.9	0.0
食料品	6.5	10.0	10.3	12.9	18.5	6.7	20.0	10.3	10.3
繊維関連	5.6	2.9	11.8	27.8	11.8	20.6	13.9	14.3	0.0
紙・印刷・出版	▲ 15.0	▲ 19.0	▲ 9.5	▲ 14.3	▲ 9.5	▲ 13.6	22.2	4.5	▲ 9.1
機械金属	0.0	6.7	0.0	6.3	0.0	5.9	▲ 3.6	2.9	▲ 5.9
電気・精密機械	0.0	▲ 9.1	0.0	9.1	10.0	10.0	0.0	9.1	▲ 11.1
鉱業・窯業・土石	11.1	0.0	22.2	22.2	22.2	22.2	22.2	▲ 11.1	11.1
輸送用機械器具	▲ 14.3	▲ 23.1	7.1	0.0	7.7	0.0	▲ 23.1	8.3	9.1
その他	2.7	8.3	7.9	18.4	21.1	25.0	19.4	5.7	0.0



6. 製品在庫・商品在庫

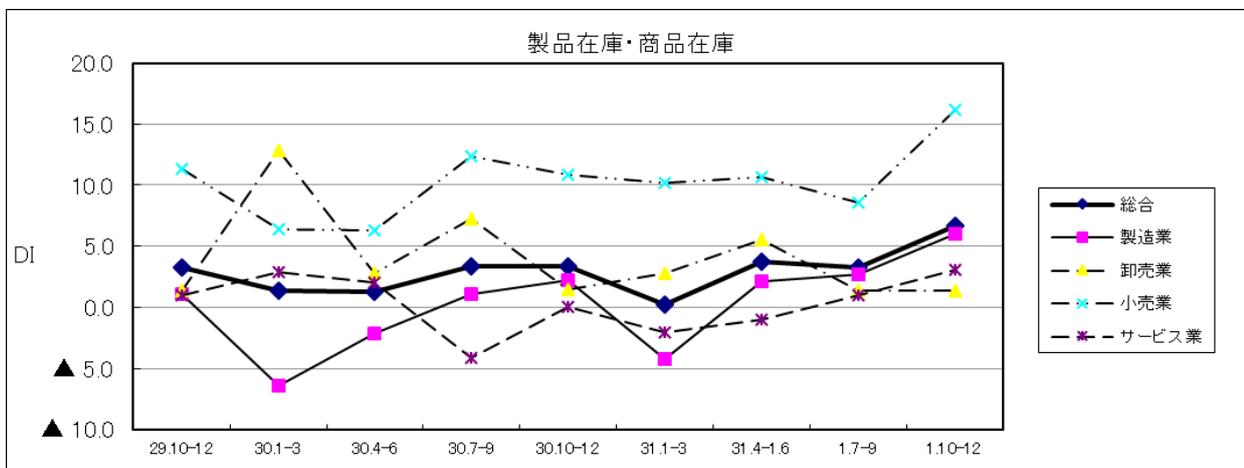
(1) 全体

総合D I（減少－増加）は6. 7と7～9月期に比べ3. 4ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、製造業、小売業サービス業でプラス幅が拡大、卸売業では、プラスで横ばいとなった。

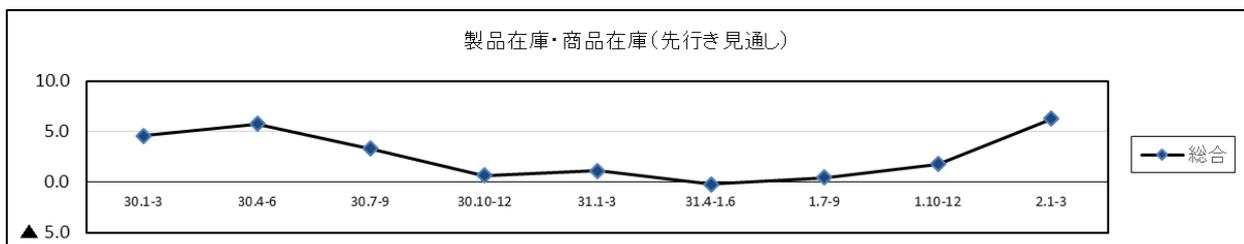
令和2年1～3月期の先行き見通し総合D Iは6. 3（前回1. 8）となり、プラス幅が拡大する見通し。

製品在庫・商品在庫	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
総合	3.3	1.3	1.3	3.3	3.4	0.2	3.7	3.3	6.7
製造業	1.1	▲ 6.5	▲ 2.1	1.1	2.2	▲ 4.3	2.1	2.7	6.0
卸売業	1.4	12.9	2.8	7.2	1.4	2.7	5.6	1.4	1.4
小売業	11.3	6.4	6.3	12.4	10.9	10.2	10.6	8.6	16.1
サービス業	1.0	2.9	2.0	▲ 4.1	0.0	▲ 2.0	▲ 1.0	1.0	3.0



<参考> 先行き見通し

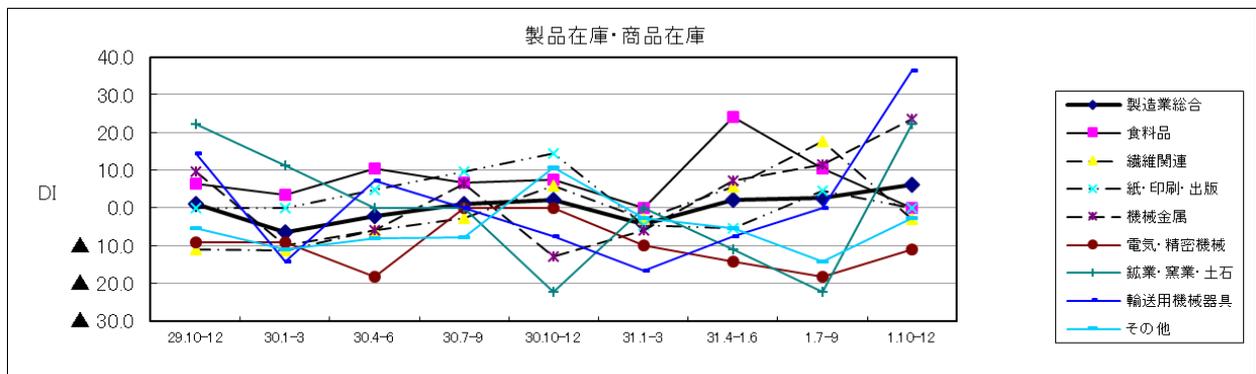
先行き見通し	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
総合	4.6	5.7	3.3	0.7	1.1	▲ 0.2	0.4	1.8	6.3



(2) 製造業の内訳

機械金属ではプラス幅が拡大、輸送用機械器具ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、鉱業・窯業・土石ではマイナスからプラスへ転換、電気・精密機械、その他ではマイナス幅が縮小した。しかし、食料品、紙・印刷・出版ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換、繊維関連ではプラスからマイナスへ転換した。

製品在庫・商品在庫	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
製造業総合	1.1	▲ 6.5	▲ 2.1	1.1	2.2	▲ 4.3	2.1	2.7	6.0
食料品	6.5	3.3	10.3	6.7	7.4	0.0	24.0	10.3	0.0
繊維関連	▲ 11.1	▲ 11.4	▲ 5.9	▲ 2.9	5.9	▲ 2.9	5.6	17.6	▲ 3.1
紙・印刷・出版	0.0	0.0	4.8	9.5	14.3	▲ 4.5	▲ 5.6	4.5	0.0
機械金属	9.7	▲ 10.0	▲ 5.9	6.5	▲ 12.9	▲ 5.9	7.1	11.4	23.5
電気・精密機械	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 18.2	0.0	0.0	▲ 10.0	▲ 14.3	▲ 18.2	▲ 11.1
鉱業・窯業・土石	22.2	11.1	0.0	0.0	▲ 22.2	0.0	▲ 11.1	▲ 22.2	22.2
輸送用機械器具	14.3	▲ 14.3	7.1	0.0	▲ 7.7	▲ 16.7	▲ 7.7	0.0	36.4
その他	▲ 5.4	▲ 11.1	▲ 8.1	▲ 7.9	10.5	▲ 2.8	▲ 5.6	▲ 14.3	▲ 2.7



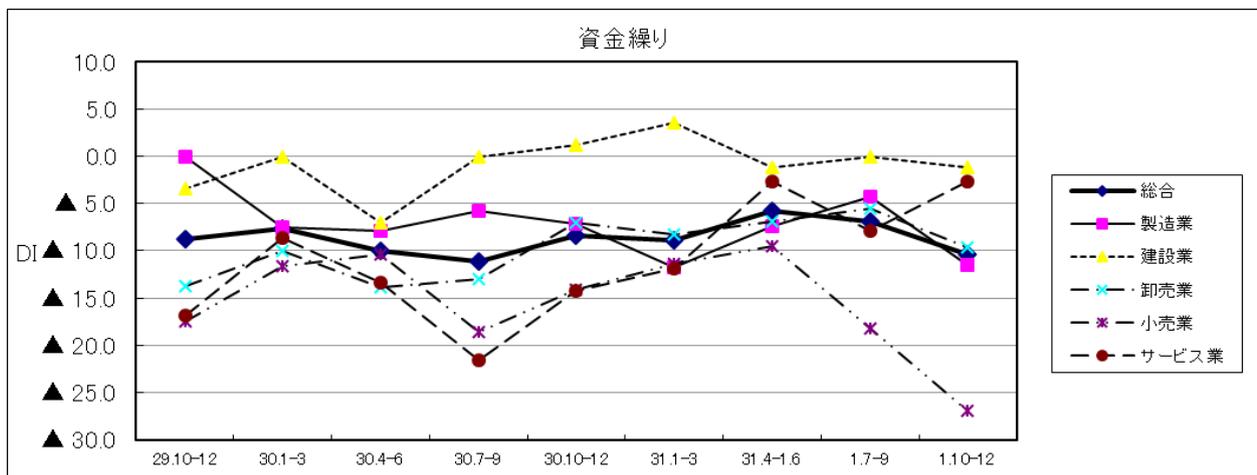
7. 資金繰り

(1) 全体

総合DI（好転→悪化）は▲10.4と7～9月期に比べ3.5ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、製造業、卸売業、小売業ではマイナス幅が拡大した。

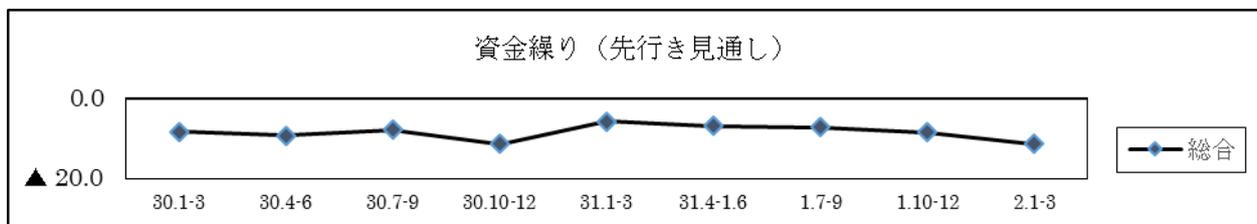
令和2年1～3月期の先行き見通し総合DIは▲11.4（前回▲8.5）となり、マイナス幅が拡大する見通し。

資金繰り	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
総合	▲ 8.8	▲ 7.6	▲ 10.1	▲ 11.2	▲ 8.4	▲ 8.8	▲ 5.8	▲ 6.9	▲ 10.4
製造業	0.0	▲ 7.5	▲ 7.9	▲ 5.8	▲ 7.1	▲ 11.8	▲ 7.4	▲ 4.3	▲ 11.5
建設業	▲ 3.4	0.0	▲ 7.0	0.0	1.1	3.5	▲ 1.1	0.0	▲ 1.1
卸売業	▲ 13.7	▲ 10.0	▲ 13.9	▲ 13.0	▲ 7.0	▲ 8.2	▲ 6.9	▲ 5.5	▲ 9.6
小売業	▲ 17.5	▲ 11.6	▲ 10.4	▲ 18.6	▲ 14.1	▲ 11.4	▲ 9.6	▲ 18.3	▲ 26.9
サービス業	▲ 16.8	▲ 8.7	▲ 13.4	▲ 21.6	▲ 14.3	▲ 11.9	▲ 2.7	▲ 7.9	▲ 2.7



<参考> 先行き見通し

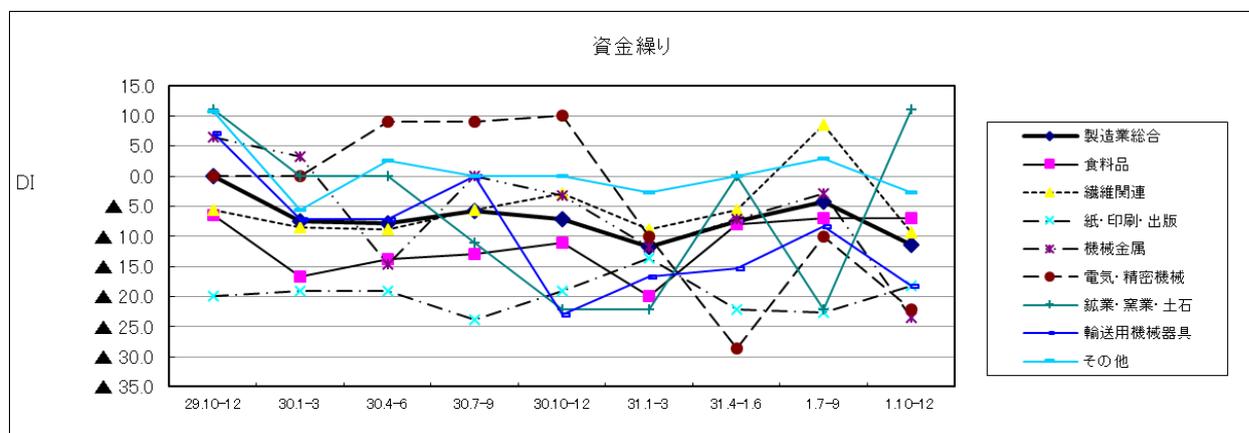
先行き見通し	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
総合	▲ 8.3	▲ 9.3	▲ 7.9	▲ 11.3	▲ 5.8	▲ 6.8	▲ 7.2	▲ 8.5	▲ 11.4



(2) 製造業の内訳

鉱業・窯業・土石ではマイナスからプラスへ転換、紙・印刷・出版ではマイナス幅が縮小、食料品ではマイナスで横ばいとなった。しかし、繊維関連、その他ではプラスからマイナスへ転換、機械金属、電気・精密機械、輸送用機械器具ではマイナス幅が拡大した。

資金繰り	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
製造業総合	0.0	▲ 7.5	▲ 7.9	▲ 5.8	▲ 7.1	▲ 11.8	▲ 7.4	▲ 4.3	▲ 11.5
食料品	▲ 6.5	▲ 16.7	▲ 13.8	▲ 12.9	▲ 11.1	▲ 20.0	▲ 8.0	▲ 6.9	▲ 6.9
繊維関連	▲ 5.6	▲ 8.6	▲ 8.8	▲ 5.6	▲ 2.9	▲ 8.8	▲ 5.6	8.6	▲ 9.4
紙・印刷・出版	▲ 20.0	▲ 19.0	▲ 19.0	▲ 23.8	▲ 19.0	▲ 13.6	▲ 22.2	▲ 22.7	▲ 18.2
機械金属	6.5	3.3	▲ 14.7	0.0	▲ 3.2	▲ 11.8	▲ 7.1	▲ 2.9	▲ 23.5
電気・精密機械	0.0	0.0	9.1	9.1	10.0	▲ 10.0	▲ 28.6	▲ 10.0	▲ 22.2
鉱業・窯業・土石	11.1	0.0	0.0	▲ 11.1	▲ 22.2	▲ 22.2	0.0	▲ 22.2	11.1
輸送用機械器具	7.1	▲ 7.1	▲ 7.1	0.0	▲ 23.1	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 18.2
その他	10.8	▲ 5.6	2.6	0.0	0.0	▲ 2.8	0.0	2.9	▲ 2.7



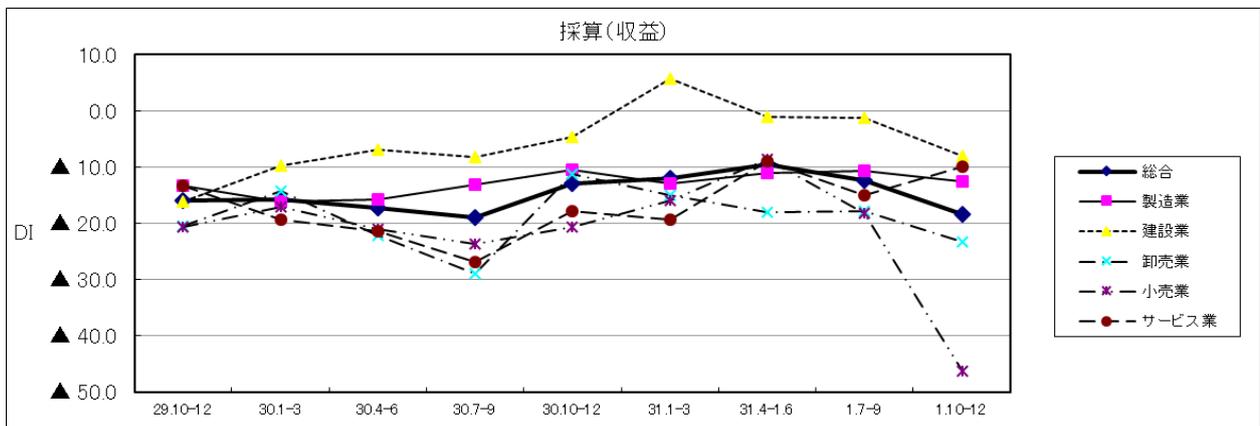
8. 採算（収益）

(1) 全体

総合D I（好転→悪化）は▲18.4と7～9月期に比べ6.1ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、製造業、建設業、小売業ではマイナス幅が拡大した。

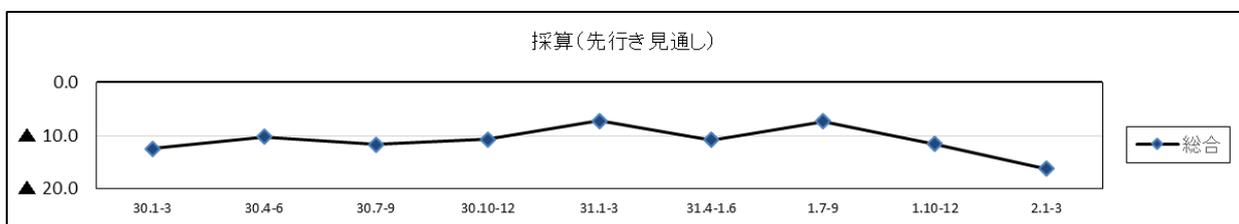
令和2年1～3月期の先行き見通し総合D Iは▲16.2（前回▲11.6）となり、マイナス幅が拡大する見通し。

採算(収益)	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
総合	▲ 15.9	▲ 15.7	▲ 17.3	▲ 18.9	▲ 12.9	▲ 12.0	▲ 9.6	▲ 12.3	▲ 18.4
製造業	▲ 13.3	▲ 16.1	▲ 15.8	▲ 13.1	▲ 10.4	▲ 12.9	▲ 11.1	▲ 10.7	▲ 12.6
建設業	▲ 16.1	▲ 9.6	▲ 7.0	▲ 8.1	▲ 4.7	5.8	▲ 1.1	▲ 1.2	▲ 8.0
卸売業	▲ 20.5	▲ 14.3	▲ 22.2	▲ 29.0	▲ 11.3	▲ 15.1	▲ 18.1	▲ 17.8	▲ 23.3
小売業	▲ 20.6	▲ 17.0	▲ 21.1	▲ 23.7	▲ 20.7	▲ 15.9	▲ 8.5	▲ 18.3	▲ 46.2
サービス業	▲ 13.3	▲ 19.3	▲ 21.4	▲ 26.8	▲ 17.9	▲ 19.3	▲ 9.0	▲ 14.9	▲ 9.9



<参考> 先行き見通し

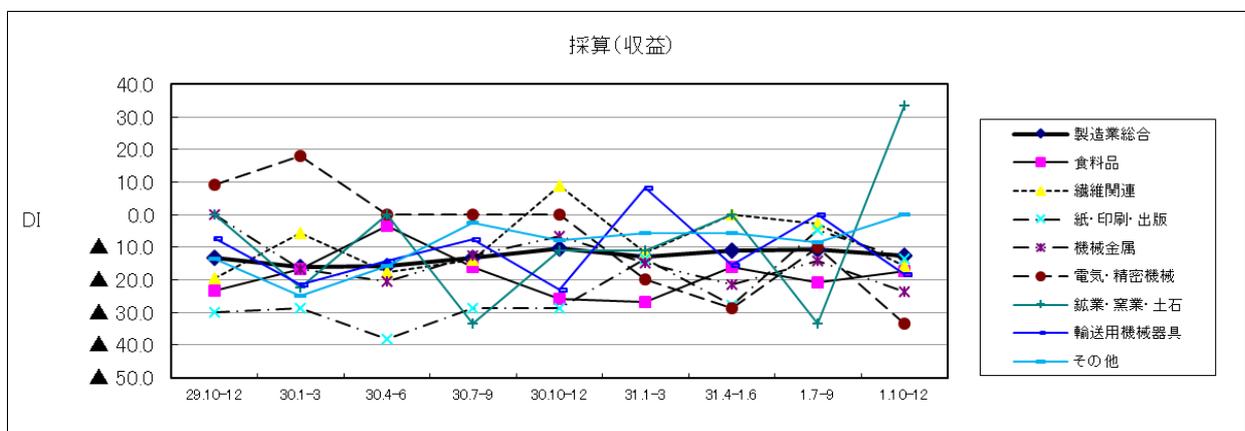
先行き見通し	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
総合	▲ 12.5	▲ 10.3	▲ 11.7	▲ 10.7	▲ 7.2	▲ 10.8	▲ 7.3	▲ 11.6	▲ 16.2



(2) 製造業の内訳

鉱業・窯業・土石ではマイナスからプラスへ転換、その他ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、食料品ではマイナス幅が縮小した。しかし、輸送用機械器具ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、繊維関連、紙・印刷・出版、機械金属、電気・精密機械ではマイナス幅が拡大した。

採算(収益)	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
製造業総合	▲ 13.3	▲ 16.1	▲ 15.8	▲ 13.1	▲ 10.4	▲ 12.9	▲ 11.1	▲ 10.7	▲ 12.6
食料品	▲ 23.3	▲ 16.7	▲ 3.4	▲ 16.1	▲ 25.9	▲ 26.7	▲ 16.0	▲ 20.7	▲ 17.2
繊維関連	▲ 19.4	▲ 5.7	▲ 17.6	▲ 13.9	8.8	▲ 11.8	0.0	▲ 2.9	▲ 15.6
紙・印刷・出版	▲ 30.0	▲ 28.6	▲ 38.1	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 13.6	▲ 27.8	▲ 4.5	▲ 13.6
機械金属	0.0	▲ 16.7	▲ 20.6	▲ 12.5	▲ 6.5	▲ 14.7	▲ 21.4	▲ 14.3	▲ 23.5
電気・精密機械	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 28.6	▲ 10.0	▲ 33.3
鉱業・窯業・土石	0.0	▲ 22.2	0.0	▲ 33.3	▲ 11.1	▲ 11.1	0.0	▲ 33.3	33.3
輸送用機械器具	▲ 7.1	▲ 21.4	▲ 14.3	▲ 7.7	▲ 23.1	8.3	▲ 15.4	0.0	▲ 18.2
その他	▲ 13.5	▲ 25.0	▲ 15.8	▲ 2.6	▲ 7.9	▲ 5.7	▲ 5.6	▲ 8.6	0.0



9. 従業員数（常用）

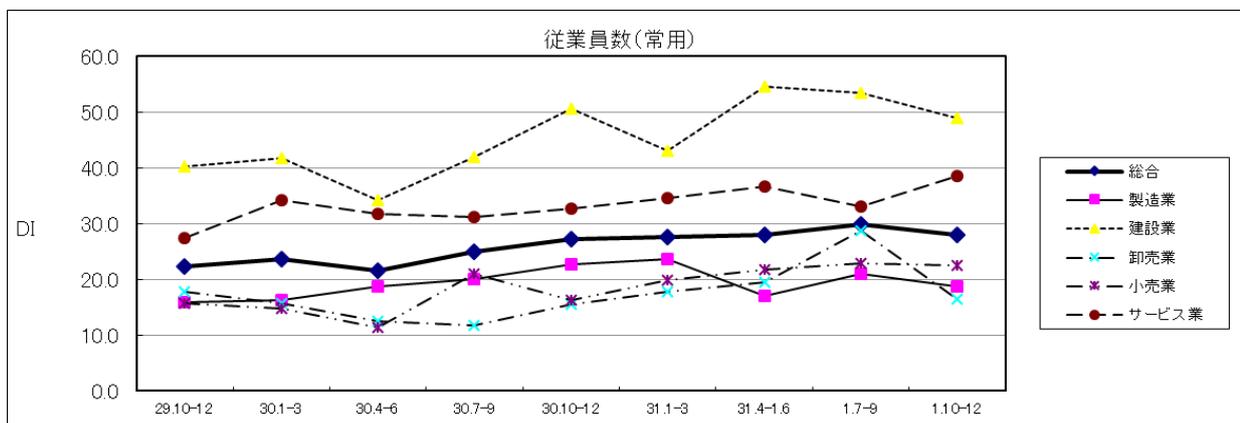
(1) 全体

総合D I（不足－過剰）は27.9と7～9月期に比べ2.0ポイントプラス幅が縮小した。

業種別では、サービス業でプラス幅が拡大した。しかし、製造業、建設業、卸売業、小売業ではプラス幅が縮小した。

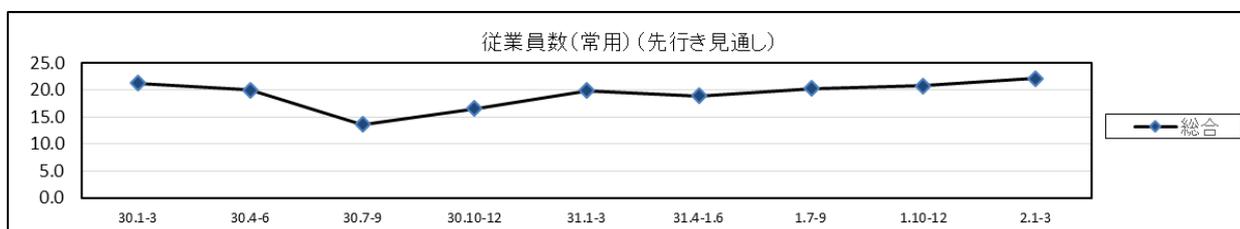
令和2年1～3月期の先行き見通し総合D Iは22.2（前回20.8）となり、プラス幅が拡大する見通し。

従業員数(常用)	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
総合	22.3	23.6	21.6	25.0	27.2	27.5	28.1	29.9	27.9
製造業	16.0	16.3	18.7	20.0	22.7	23.7	17.0	21.0	18.7
建設業	40.2	41.7	34.1	41.9	50.6	43.0	54.5	53.5	48.9
卸売業	17.8	15.7	12.5	11.8	15.5	17.8	19.4	28.8	16.4
小売業	15.6	14.7	11.5	21.1	16.3	19.8	21.7	22.8	22.6
サービス業	27.4	34.2	31.8	31.2	32.7	34.5	36.7	33.0	38.5



<参考> 先行き見通し

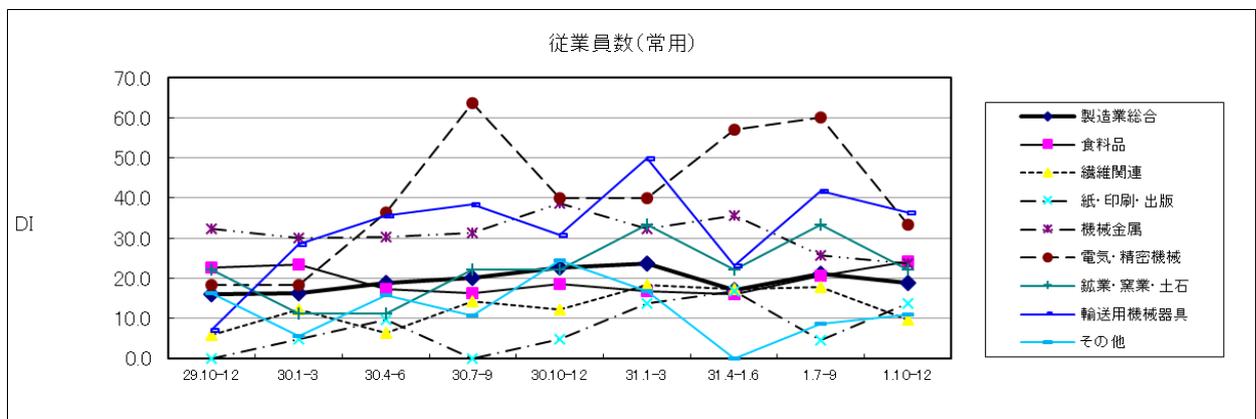
先行き見通し	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
総合	21.3	20.1	13.7	16.6	19.9	18.9	20.3	20.8	22.2



(2) 製造業の内訳

食料品、紙・印刷・出版、その他ではプラス幅が拡大した。しかし、繊維関連、機械金属、電気・精密機械、鉱業・窯業・土石、輸送用機械器具ではプラス幅が縮小した。

従業員数(常用)	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
製造業総合	16.0	16.3	18.7	20.0	22.7	23.7	17.0	21.0	18.7
食料品	22.6	23.3	17.2	16.1	18.5	16.7	16.0	20.7	24.1
繊維関連	5.7	12.1	6.3	14.3	12.1	18.2	17.1	17.6	9.7
紙・印刷・出版	0.0	4.8	9.5	0.0	4.8	13.6	16.7	4.5	13.6
機械金属	32.3	30.0	30.3	31.3	38.7	32.4	35.7	25.7	23.5
電気・精密機械	18.2	18.2	36.4	63.6	40.0	40.0	57.1	60.0	33.3
鉱業・窯業・土石	22.2	11.1	11.1	22.2	22.2	33.3	22.2	33.3	22.2
輸送用機械器具	7.1	28.6	35.7	38.5	30.8	50.0	23.1	41.7	36.4
その他	16.2	5.6	15.8	10.5	24.3	16.7	0.0	8.6	10.8



10. 従業員数（臨時）

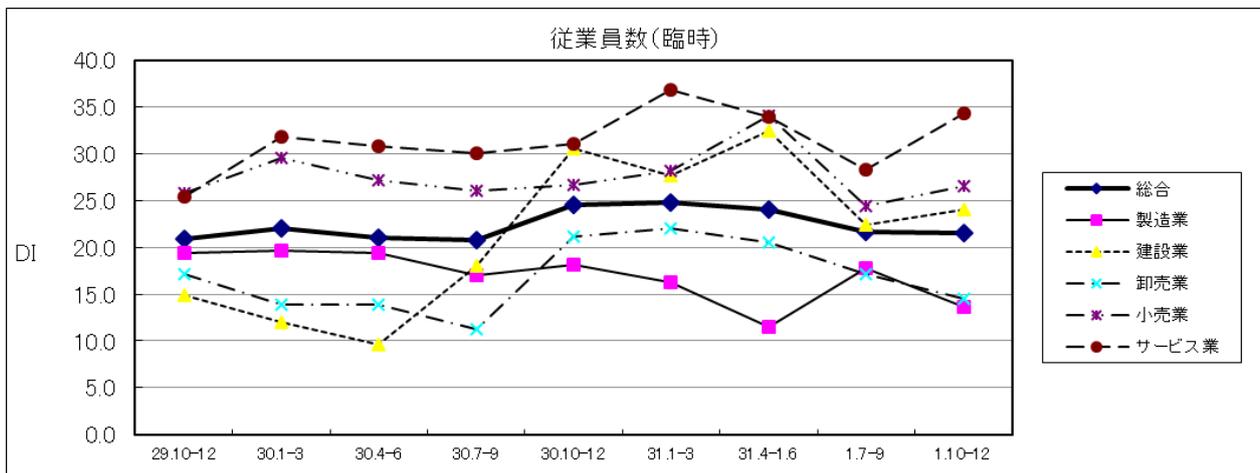
(1) 全体

総合DI（不足一過剰）は21.5と7～9月期に比べ0.2ポイントプラス幅が縮小した。

業種別では、建設業、小売業、サービス業でプラス幅が拡大した。しかし、製造業、卸売業ではプラス幅が縮小した。

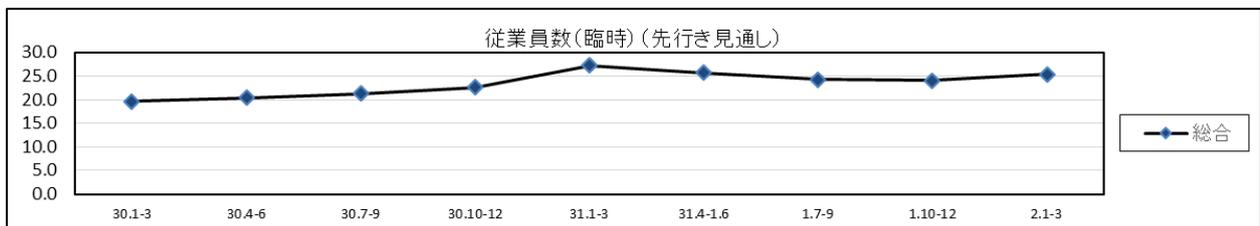
令和2年1～3月期の先行き見通し総合DIは25.4（前回24.0）となり、プラス幅が拡大する見通し。

従業員数(臨時)	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
総合	20.9	22.0	21.1	20.7	24.6	24.9	24.1	21.7	21.5
製造業	19.4	19.7	19.4	17.0	18.1	16.2	11.5	17.7	13.6
建設業	14.9	12.0	9.6	18.1	30.6	27.6	32.4	22.4	24.0
卸売業	17.2	13.8	13.8	11.3	21.2	22.1	20.6	17.1	14.5
小売業	25.8	29.5	27.2	26.1	26.7	28.2	34.1	24.4	26.5
サービス業	25.5	31.8	30.8	30.1	31.1	36.9	34.0	28.3	34.3



<参考> 先行き見通し

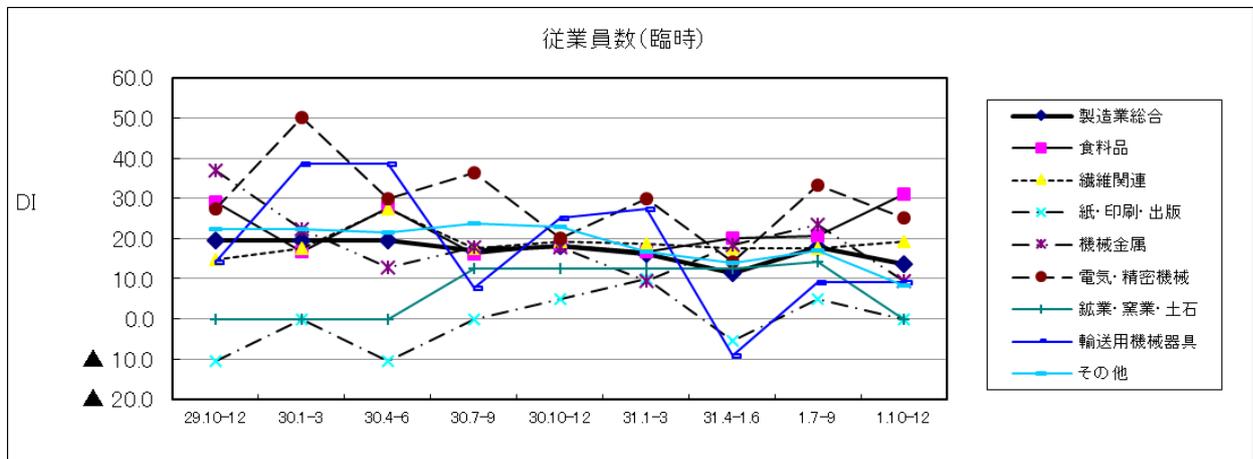
先行き見通し	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3
総合	19.6	20.4	21.2	22.6	27.2	25.7	24.3	24.0	25.4



(2) 製造業の内訳

食料品、繊維関連ではプラス幅が拡大、輸送用機械器具ではプラスで横ばいとなった。しかし、機械金属、電気・精密機械、その他ではプラス幅が縮小、紙・印刷・出版、鉱業・窯業・土石ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換した。

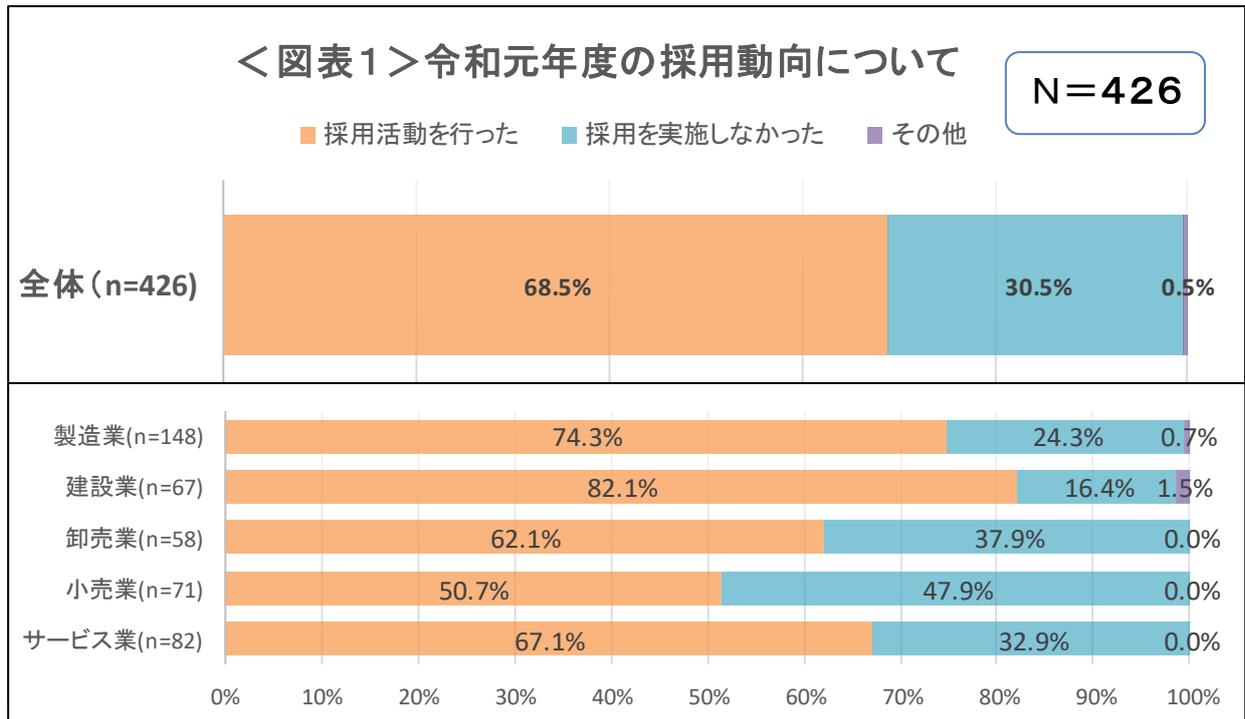
従業員数(臨時)	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
製造業総合	19.4	19.7	19.4	17.0	18.1	16.2	11.5	17.7	13.6
食料品	29.0	16.7	27.6	16.1	18.5	16.7	20.0	20.7	31.0
繊維関連	14.7	17.6	27.3	17.6	19.4	18.8	17.6	17.6	19.4
紙・印刷・出版	▲ 10.5	0.0	▲ 10.5	0.0	5.0	10.0	▲ 5.6	5.0	0.0
機械金属	37.0	22.2	12.9	17.9	17.9	9.4	18.5	23.3	9.4
電気・精密機械	27.3	50.0	30.0	36.4	20.0	30.0	14.3	33.3	25.0
鉱業・窯業・土石	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5	14.3	0.0
輸送用機械器具	14.3	38.5	38.5	7.7	25.0	27.3	▲ 9.1	9.1	9.1
その他	22.2	22.2	21.6	23.7	22.9	16.7	13.9	17.1	8.3



◆付帯調査：令和元年度の採用動向について

(1) 令和元年度の採用計画に対する採用実績について、当てはまるものを下記から選んでください。

1. 計画した人数どおりに採用できた（計画以上の採用も含む）
2. 採用できたが、計画した人数には満たなかった（採用活動継続中も含む）
3. 募集をしたが、採用できなかった（採用活動継続中も含む）
4. 今年度は採用を実施しなかった
5. その他

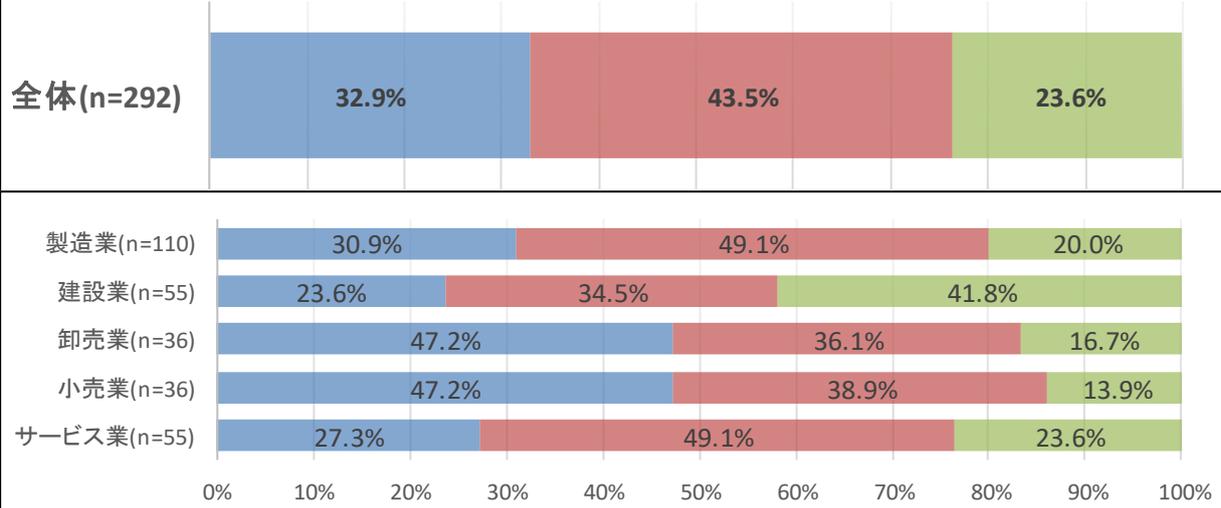


- ・その他の意見
随時募集している（高粱・建設業）

＜図表2＞令和元年度の採用実績について

採用活動を
行った**292社**

- 計画した人員どおりに採用できた(計画以上の採用も含む)
- 採用できたが、計画した人数には満たなかった(採用活動継続中も含む)
- 募集をしたが、採用できなかった(採用活動継続中も含む)



(2) 今年度の採用についての感想をご記入ください。

- ・会社の知名度向上の必要性を認識 (製造業・岡山)
- ・内定者が来年の入社式に揃うか心配 (製造業・倉敷)
- ・採用はうまくいかないが、外国人技能実習生の受け入れで対応している (製造業・井原)
- ・年々厳しくなっており、来年以降は予断を許さない状況になる (製造業・総社)
- ・ある程度の採用はできたが、計画までは達成できなかった。地元の就職希望者が年々減っていると感じている (製造業・新見)
- ・「高校・大学卒業者の減少」「景気の安定化」により、大企業に人材を奪われている。今後の少子化を見越して、大企業が今のうちに若手労働者を確保しようと動いている (建設業・倉敷)
- ・計画通りにいき満足 (建設業・玉島)
- ・現場監督と大工を採用したいが、なかなか集まらない (建設業・井原)
- ・有能な社員が入社し今後に期待している (卸売業・津山)
- ・募集をしても人が来ない (卸売業・児島)
- ・新卒採用は昨年に続き売り手市場で苦戦するも、昨年よりは若干改善のきざしもある (小売業・岡山)
- ・時給の高騰もあり採用は難しかった (小売業・笠岡)
- ・入社辞退も発生し、厳しいこと変わらない。給与よりも雇用制度を重視する傾向 (サービス業・玉野)
- ・採用するも定着できず、慢性的不足状況改善できず (サービス業・高梁)